

宮崎県立都城農業高等学校 農業科（作物部門）「ひなた GAP 認証」実践報告書

実践タイトル		「G o o d な農業」を目指して ひなた G A P 認証を通して学ぶ持続可能な農業					
学年	3 年	教科	農 業	科目	総合実習	認証項目	穀 物
活動のポイント		1 農業系高校生が、ひなた G A P 認証に携わる (1) G A P とはどのような取り組みなのか理解し、宮崎県独自の「ひなた G A P」の認証に向けて班でリスク検討を行う。 (2) 外部講師による講習を通して、労働安全・食品安全・環境保全に対する学びを深める。 (3) 想定されるリスクを解決する能力を育む。 (4) 高校生で G A P を取り組むことにより、今後の農業を担う上で必要な事柄は何かを考える。					
ひなた G A P 認証までの流れ							
日 程	内 容				備 考		
R 2.7.20	第 1 回 G A P 推進会議			職員	ひなた G A P の解説 認証取得品目の決定		
11.19	第 2 回 G A P 推進会議			職員	進捗状況の報告等		
10.27	普及指導員による事前指導①			職員	現状における改善点の指導		
12. 3	高鍋農業高等学校へ視察			職員			
12.14	土壌分析				J A 都城に依頼		
R3.1.15	残留農薬分析				J A 宮崎経済連に依頼		
2.15	普及指導員による事前指導②			職員	リスク検討内容の解説		
2.24	リスク検討①			2 年専攻生	総合実習		
2.25	リスク検討②			2 年専攻生	総合実習		
3.12	農場実地審査			職員	審査員 1 名、普及指導員 1 名		
5.25	GAP 認証日						
10.12	G A P 維持審査			職員			
R 4.9.27	リスク検討①			3 年専攻生	総合実習		
10. 7	リスク検討②			3 年専攻生	総合実習		
10.12	GAP 更新審査			職員	審査員 1 名、普及指導員 2 名		
生 徒 の 感 想							
・ G A P は、「農産物の安全」だけでなく「労働安全」「環境保全」「人権・福祉」「マネジメント」など、農業は色々なことに目を向け、改善に取り組まなければならないのだと感じました。 ・ ひなた G A P 取得に向けて、農場での危険な場所や、作業時の安全について検討をおこないました。草刈作業時に、刃が石などに当たって飛ばないように草を刈る事前に安全を確認する。 ・ 蛍光灯の破損により破片が異物として米に混入するリスクと対策についても検討を行いみんなで深く考え対策を見つめることができて良かったです。							

- ・作業をする上で5 S（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）が大切であることを知ることができました。
- ・GAPを通して学んだ知識や技術を活かし、農大に進学した後、農業関係の職につきたいと思っています。宮崎の農業を担う人材になれるように頑張りたいと思います。

実 際 の 様 子

令和3年度

○認証書交付式



○交付式終了後記念写真



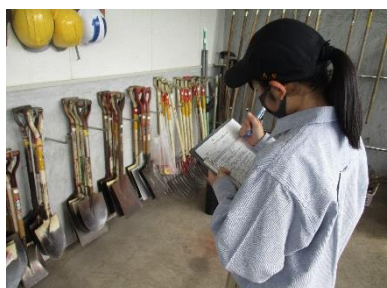
○意見交換会



令和4年度

○事前学習（リスク分析）

基準書・解説書からリスク要因と対応すべき方法を確認し、実際のリスク分析に取り組んだ。



○更新審査（圃場審査）



今 後 の 課 題

- ・学校生活を含め、基礎基本のルール厳守を守ることから改めて行いたい。
- ・3カ年間を見通したGAP教育の実践。
- ・持続可能なGAPの取り組みを行う。
- ・ひなたGAPの基準に関わらず、先進的なGAPの実践を実施していくこと。
- ・生徒は、将来の地域農場の担い手でもあり、地域の特性や実情に合ったGAP教育を検討し実践していくこと。